

令和8年10月18日執行 丸森町議会議員補欠選挙候補者選挙公報

丸森町選挙管理委員会

丸森を元気に!

- 1 音楽を通して町を活性化します
- 2 運動を推進して元気な体づくり
- 3 地域農業を大事にし、安全な食生活を目指します
- 4 子供達に多くの事を体験してもらい、笑顔になるような環境づくり
- 5 環境破壊をするインフラをストップさせる

さいとう勝幸プロフィール

■生年月日/昭和46年11月16日 ■出身地/丸森町館矢間生まれ
■現職/介護職に従事 ■経歴/令和5年より住宅会自治会長を務める
■趣味/音楽好き ミュージシャンのライブによく足を運ぶ



さいとう
勝幸

一緒につなげよう 未来に向けた町づくり

医療・福祉の充実

医療、福祉連携による安心したサービスを受けられる町づくりを目指します。

子育て・教育の充実

子どもたちがいつも伸びやかに、豊かな発想で育める町づくりを目指します。

防災・減災の強化

防災・減災の整備対策により、安心安全に暮らせる町づくりを目指します。

地域資源の活用・地域活性化

地域資源を有効活用し、町民の皆様が活躍できる町づくりを目指します。

せいの宏和プロフィール

■生年月日 昭和51年3月9日生まれ ■学歴 東北文化学園 東北医療福祉専門学校 卒業・東北福祉大学 中退 ■現職 介護支援相談員 ■経歴 宮城県認知症介護指導者・山元町認知症初期集中支援チーム員・認知症疾患医療連携協議会委員・丸森町消防団員



せいの
宏和

いさおが 目指す4つの未来!

- 1 復旧復興から「次のまちづくり」へ
令和元年東日本台風からの復旧・復興を仕上げ、MIZBE(みずべ) ステーションやリニューアルした八雄館などを「作って終わり」にせず、にぎわい創出に繋げます。
- 2 若者に選ばれるまちへ
企業誘致、事業承継、住宅、子育て、交通のあり方を町全体で考え「生きがいのある丸森」をめざします。
また宅地を安価に提供し、若い方々の移住を進めます。
- 3 財政改革・まちの稼ぐ力向上へ
既存施設や地域資源を活かして自主財源を増やし、公共負担を抑えながら民間投資を呼び込みます。
守るべきものは守り、変えるべきものは変え、皆さんの声を、政策と予算につなげます。
- 4 防災のまち、共生のまちへ
水と緑を守りながら地域経済を両立。森林、河川、土地利用を一体で考え、災害に強い町を実現します。
再生可能エネルギーは、地域住民への十分な説明と共生を前提とし、自伐型林業など、森を守りながら稼ぐ仕組みの導入を図ります。



いさお
一條いちじょう

丸森町館矢間在住 思春期の子育て 主婦のど真ん中

現役保育士の現場力

無駄を省いて暮らしを豊かに

現場の困りごとを聴き、暮らしの仕組みをすっきり整えます!

福祉・医療の整理
どこに相談すればいいか迷う複雑な制度を整理し、誰もがすぐ使える安心の医療・福祉へ!

子ども環境の整理
一人ひとりに目が届く手厚い体制で、落ち着いて学べる学級・学校環境を整備します!

財政・行政の整理
町政のムダをチェック!「やらないより、やる!」の行動力で必要な現場へ予算を届けます!

いちかわゆみ
市川由美
プロフィール

仙台市出身。丸森町館矢間在住。思春期の子育て真っ只中の「主婦ど真ん中」な現役保育士。私立保育園園長など23年の保育現場を経て、現在は放課後等デイサービス勤務。また整理収納アドバイザーの資格を持ち、その視点を活かして「無駄を省いて暮らしを豊かに」をモットーに過ごす。



市川
由美



意志表示 選挙で示そう 君の声
(第18回明るい選挙啓発標語入選)

10月18日(日)は
丸森町議会議員
補欠選挙の投票日です。

みんなの声が届く丸森町へ

町を良くしていくのは
いつの時代も
あなたの声です。



1 どんな声にも耳を傾けます
小さな声も大切に。
一人ひとりの声を、しっかり聞きます。

2 議会で話す前に、町民と話します
町のことは、町民のみなさんと一緒に考え、
議論を重ねていきます。

3 どんな課題にも、真摯に向き合います
「聞く・話す・考える」を大切に。
一つひとつの課題に、誠実に向き合います。

あなたと一緒に丸森町の「これから」を



西岡
恵豊